

第8期 事業計画書

令和6年10月1日から令和7年9月30日まで

NPO 法人 あったかいいねっと

1 事業実施の方針

当 NPO 法人は設立から7年と半年、共生型デイサービスは営業を開始して8年目を迎えます。

私たちの行っている共生型デイサービスの取り組みは「民家を利用した大家族的共生型」をコンセプトにしており、この中で過ごすことは、高齢者の方や障がい児者ひとりひとりの人生において、個々の得意を活かした活動の体験から自己肯定感を得て新たな役割を提供できます。

このコンセプトをとおし、人として豊かであたたかなつながりを多くの生きづらさを抱えておられる方々へ届け、寄り添い救いとなれるよう努力し、共生の輪を広げていく一年としていきます。

共生の実践という視点から見た社会情勢や現実問題は困難の連続ではありますが、諦めず、目の前の笑顔のために、これまでの経験を活かし更なる模索を行います。

地域共生型交流サロン活動については、障がいの有無に関わらず誰もが参加できる活動を定例化することを目標に、「あったか応援団」を再構築し、地域共生社会の実現のために、まず関わる人自身が楽しみながら出来る活動を実践していきます。

今後も共生型体験視察研修や講演活動などを積極的に実施し、共生型の概念及びその必要性について広めていきます。また、組織内部のあり方を見直し、理事・社員・デイ職員だけでなく、周囲の理解も促し深い共感を育めるように研鑽していきます。

第7期に取得した特例認定NPOについては、特例期間が3年であるため、浜田市内にとどまらず全国に情報発信し、当法人の応援者を更に増やせるよう努力し、引き続き「認定NPO」取得を目指します。

令和6年4月の介護福祉の報酬改定は、物価等が高騰するなか小さな介護福祉事業者にとっては十分ではありませんでしたが、共生社会の実現を目指し、創意工夫を重ね質の高い介護福祉サービスの提供を継続していきます。

【1. 地域共生社会の実現に向けた事業】

① 共生型デイサービス事業について（7年目）

これまでと同様に、目の前の笑顔のために、個々がその人らしく安心して楽しく過ごしていただけるよう、それぞれの状態に合わせた必要な介護などの支援を提供します。

それぞれの心身の機能維持に努め、得意を引き出し喜びに変え支援します。そして、大きな家族として互いを大切に自助互助敬助の関りをひろげます。

ア 介護保険対象の方：個別機能訓練を継続的に実施するとともに、個々が健康に楽しみや役割を持ち過ごせるよう、より一層あたたかく丁寧な支援を行います。

イ 障がい者の方：介護保険に移行手前の方の利用者が多くなっており安心して安楽な生活介護を求められています。一方若い利用者は就労移行を目指していて、個々の特性・得意に合わせた作業活動や役割意識を後押しする支援が求められます。今後は「工賃が出せる生活介護事業所」を目指し創意工夫と努力を重ねていきます。

ウ 障がい児の方：当デイサービスを開設した7年前に比べ、現在は市内の障がい児を支える事業所は充実してきています。しかし、医療依存度の高い障がい児に対応できるサービスは乏しい現状ですので、長期休暇（春・夏休み）を利用した短期集中サポートを活用して医療依存度の高い障がい児の支援を試みていきます。

エ 共生型デイサービスの視察・体験（交流）・実践研修を実施していきます。

② 相談支援事業について

令和5年5月に事業を開始し、利用者様へのアセスメント・アプローチを丁寧に行うことができ、手続き等については基幹センター等に助言をもらいながら進めています。今後も利用者様に寄り添いながら、利用者様、ご家族、支援者が共に前向きになれる相談支援サービスを提供していきます。

利用者数は現在 8 名です。今後も安定的に相談支援事業を実施できるように最低利用者数 20 名を目標に、他事業所との横のつながりや連携を図りながら PR 活動・営業活動を行っていきます。

【2. 安心して過ごせる場所作り事業】

① とき時カフェについて

地域の中の生きづらさを抱える方々へ食の支援が必須と考え、「おひとりさま食堂」(子ども食堂の構想に、対象者を生きづらさを抱える方、生活困窮者や地域の独居者・孤食者を含んだ形への取組み)と「デイサービスの利用者様への昼食サービス」を合わせた形で、「とき時カフェ」を引き続き運営します。またデイサービス利用者様のご家族、支援事業所、一般の方の予約も受け付けます。お菓子などの販売用食品作り、調理実習や料理教室などの企画も検討していきます。

② フリースペースについて

支援ハウスの空部屋を、地域の中の生きづらさを抱える方のフォローや地域共生社会に関わる活動を行っている団体や個人を支援するために貸出し、あたたかなまちづくりに寄与していきます。

【3. 自然（命の循環）を感じる活動に関する事業】

① あったかファームについて

あったかいいねっとの行う事業を支える柱として整備を続けます。農作物の栽培や収穫といった作業を通して、「命を感じる活動」としての役割を果たします。デイサービスの利用者様のみではなく、サロン活動の一部としても地域に開いて活用していきます。

また、あったかファームの野菜を定期的に、対外的に販売出来るよう、生産性の向上を試み、あったか工房と共に地域イベントへの出店を行っていきます。

【4. 育ちあう、ひろげる活動に関する事業】

① 共生型交流サロンについて

ア 定例会・イベント

共生型交流サロンは、障がいの有無に関わらずどなたでも参加できる場所です。生きづらさを抱える方々や引きこもり状態になっている本人、またその家族を支える場としての役割もあります。

更に、ボランティアの方にとっても地域の中でできることを形にしていく場でもあります。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を縮小していましたが、今後は定期開催し、様々なイベントを企画していきます。また、本活動の周知を行い、新たなボランティアや参加者を募集し、「あったか応援団」を中心に活動を広げていきます。

イ 人材育成

様々な研修を企画し地域共生社会を担う人材育成を目指します。

今まで研修やボランティア体験として企画実施していたものを、「共生型体験研修プログラム」として実践し、広く人材育成していきます。また、視察研修参加者にも協力していただき、学び合う場の企画も行います。

【5. その他目的を達成するために必要な事業】

① あったか工房について

利用者様やサロン活動参加者と一緒に「もの作り」を行い、就労につながるようにきっかけを作っていきます。

製作したものが物販収入に結び付くような仕組みを作り支援していきます。売上は、サロン活動や制作者への還元につなげていきます。積極的に地域イベントにも出店し、物販の機会を増やしていきます。

② 目の前の笑顔のために

特定の内容は定めず、その時々必要性によって自由に動ける活動で、当法人の事業目標である必要だが「まだ地域にない」サービス・支援・活動を積極的に行っていきます。

③ 傾聴相談事業

心のセミナー、グリーフケア・グリーフカウンセリングなどを個人や地域の要望に応じて開催します。

④ 整備事業

渡り廊下の屋根とデッキの風よけの設置、畑や花壇の整備、玄関等に手すりを設置する、手狭なホールや事務所のスペース拡大など、快適なデイサービスの生活環境の整備を必要に応じて検討していきます。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定の日時 場所、従事者の 予定人数	受益対象者の 範囲及び予定 人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
【1. 地域共生社会の実現に向けた事業】				
共生型デイサービス 「お天気いいね」	介護保険、障がい福祉サービス事業のデイサービス	月水金 9：00～16：00 火木 10：00～16：00	要支援 1・2 要介護 1～5 区分2～6 定員1日 15名	収益 ：43,200 費用 ：37,997
相談支援事業所 「雨のち晴れ」	障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むための相談支援	月～金 9：00～16：00 随時対応	障がい(児)者	収益：300 費用：45
【2. 安心して過ごせる場所作り事業】				
とき時 カフェ	地域食堂 物販（お菓子・惣菜など）	支援ハウス 厨房食堂	生活困窮者・孤食の人・子ども ・地域の人	収益：200 費用：15

フリー スペース	・フリースペー スの貸出し	支援ハウス 和室・2階 ボランティアな ど延べ6名程度	当法人の活動 趣旨に則した 団体、個人	収益:50 費用:2
【3. 自然（命の循環）を感じる活動に関する事業】				
あったか ファーム	畑作業、収穫、 調理、販売など	畑 随時 スタッフ2名	生きづらさを 抱えている人	収益:150 費用:70
【4. 育ちあう、ひろげる活動に関する事業】				
共生型 交流サロン	地域の障がい の有無、年齢に 関係なく参加 できる活動 引きこもり等 居場所づくり	偶数月第3土曜日 ※適宜打合わせ 浜田市熱田町112 9-1スタッフ2名	生きづらさを 抱える人 各回5名程度	収益:100 費用:60
人材育成	共生型人材育 成・研修会・茶 話会等	年2回程度実施 希望者に随時	地域共生社会 に興味ある方	収益:0 費用:0
【5. その他目的を達成するために必要な事業】				
あったか工房	「もの作り」で 就労に向けた 手作業の体験。 製品として販 売し作成者に 還元	随時 必要な場所	利用者様やサ ロン活動参加 者	収益:50 費用:30
目の前の笑顔 のために	地域共生社会 を実現するた めにまだ地域 にないサービ ス、支援活動	随時 必要な場所	生きづらさを 抱えている人	収益:0 費用:0

傾聴相談関連 事業	困っているこ とや生きづら さなどについ てお話を聴く (個人・小グル ープでの相談)	支援ハウス 電話 要望のある時	生きづらさを 抱える方 悩みのある方	収益:0 費用:0
整備事業	渡り廊下の屋 根とデッキの 風よけの設置 畑や花壇の整 備 玄関等に手す りを設置	随時	当法人事業所 への来所者全 て	収益:0 費用:400
法人活動全体 ※助成金寄付金などについては記載なし				収益 :42,620 費用 :39,270

※詳細については第8期活動予算書参照

3 その他の事業

実施なし